

参 考 資 料

～ 基本構想の策定経過 ～

1. 策定経過とメンバー

大曽根駅地区バリアフリー基本構想策定調整会議 … 基本構想案の作成

◆第1回大曽根駅地区バリアフリー基本構想策定調整会議

(H20.6.16 13:30～ 六郷小学校特活室)

- 事業概要及びオリエンテーション
- 磯部スーパーバイザーによる講演
「バリアフリーのまちづくりの新たな視点」
- 現地調査とワークショップ

◆第2回大曽根駅地区バリアフリー基本構想策定調整会議

(H20.7.10 13:30～ 六郷小学校特活室)

- 現地調査とワークショップ
- 第1回現地調査結果のフィードバック

◆第3回大曽根駅地区バリアフリー基本構想策定調整会議

(H20.8.5 13:30～ 六郷小学校特活室)

- 現地調査とワークショップ
- 第2回現地調査結果のフィードバック

◆第4回大曽根駅地区バリアフリー基本構想策定調整会議

(H20.9.5 14:00～ 名古屋市総合社会福祉会館大会議室)

- 現地調査の結果について

◆第5回大曽根駅地区バリアフリー基本構想策定調整会議

(H20.11.10 14:00～ 名古屋市消費生活センター第一研修室)

- 基本構想中間案について

◆第6回大曽根駅地区バリアフリー基本構想策定調整会議

(H21.2.16 14:00～ 名古屋市消費生活センター第一研修室)

- 基本構想成案について

名古屋市バリアフリー基本構想策定協議会 … 基本構想案の審議・検討

◇第1回バリアフリー基本構想策定協議会

(H20.6.19 14:00～ 名古屋市公館レセプションホール)

- 事業概要及び今後の策定スケジュールについて

◇第2回バリアフリー基本構想策定協議会（H20.11.17 14:00～ 名古屋市正庁）

- 現地調査結果の報告
- 基本構想中間案について

◇第3回バリアフリー基本構想策定協議会（H21.2.19 14:00～ 名古屋市正庁）

- 基本構想成案について

福祉のまちづくり推進委員会 … 基本構想案の報告

■第29回福祉のまちづくり推進委員会（H20.10.17 14:00～ 名古屋市正庁）

- 事業概要及び現地調査結果の報告

■第30回福祉のまちづくり推進委員会（H21.3.19 14:00～ 名古屋市正庁）

- 基本構想成案について



第1回バリアフリー基本構想策定協議会



第2回バリアフリー基本構想策定協議会

◆ 大曽根駅地区基本構想策定調整会議

() は代理等による出席

区分	氏名	職名
地元市民代表者	飯沼 龍祥 上馬場孝郎 西村 建二 溝口 義照 長谷川武壽 加藤登美子 中村 國夫 岡田 茂代 菊田哲二郎 百田 昌藏 馬場 勇 渡邊 泰彬	東区旭丘学区区政協力委員長 東区旭丘学区民生委員児童委員協議会会長 東区矢田学区区政協力委員長 東区矢田学区民生委員児童委員協議会会長 北区六郷学区区政協力委員長 北区六郷学区民生委員児童委員協議会会長 北区六郷北学区区政協力委員長 北区六郷北学区民生委員児童委員協議会会長 北区飯田学区区政協力委員長 北区飯田学区民生委員児童委員協議会会長 東区商店街連合会支部長 北区商店街連合会会長
高齢者・ 障害者代表者	米本 憲正 水野 宏三 豊島 秀夫 伊藤 清直 伊藤 恵美子 前田 眞彦 山田 弘 杉本 由司 森 美親 辻 直哉 (平山 晶士) 城内 敏彦 樋口 明信 伊藤 恵子 橋 麻也子 宮原 あけみ 岡田 ひろみ 内田 由美子 野崎 節子	東区旭丘学区老人クラブ連合会会長 東区矢田学区老人クラブ連合会会長 北区六郷学区老人クラブ連合会会長 北区六郷北学区老人クラブ連合会会長 北区飯田学区老人クラブ連合会会長 なごやかハウス出来町事務長 福祉のまちづくり推進委員会推薦 福祉のまちづくり推進委員会推薦 愛知県重度障害者の生活をよくする会 愛知県重度障害者団体連絡協議会事務局 東区身体障害者福祉協会会長 北区身体障害者福祉協会会長 名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 東区手をつなぐ育成会会長 北区手をつなぐ育成会副会長 愛知県自閉症協会副会長 東区精神障害者家族会会長 北区精神障害者家族会会長
区社会福祉協議会	榎原 康夫 下村 義興	東区社会福祉協議会事務局次長 北区社会福祉協議会事務局次長
行政関係者	浅井 慎一 慣例により 氏名省略 北村 仁志 林川 浩司 森 浩久 吉村 金利 近藤 真司 川井 明彦	国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所交通対策課交通対策係長 愛知県警察本部交通規制課規制企画係長 愛知県警察本部交通規制課規制実施係長 愛知県警察本部交通規制課規制実施主任 愛知県警察本部交通管制課施設係長 愛知県警察本部駐車対策課対策第二係長 東警察署交通課規制係長 北警察署交通課規制係長 総務局交通政策室主査(交通政策) 市民経済局地域安全推進課主査(交通安全推進) 住宅都市局交通施設計画課計画第一係長 住宅都市局特定交通経営管理室主査(企画) 住宅都市局大曽根北都市整備事務所主査 緑政土木局企画経理課主査(企画)

行政関係者 (続き)	平尾 高之	緑政土木局道路管理課指導係長
	服部 稔	緑政土木局道路維持課安全対策係長
	加藤 巖	緑政土木局自転車駐車対策室主査（自転車等駐車対策）
	堀 透	緑政土木局緑地管理課指導係長
	高瀬 浩吉	緑政土木局緑地施設課建設係長
	尾崎 嘉成	緑政土木局東土木事務所維持係長
	若杉 幸雄	緑政土木局北土木事務所維持係長
	高木 貴子	東区まちづくり推進室主査（安心・安全で快適なまちづくりの企画）
	石川 利恵	北区まちづくり推進室主査（安心・安全で快適なまちづくりの企画）
	安藤 孝	消防局指導課建築係長
	吉田 篤史	交通局経営企画課調査係長
	橋本 貢	交通局電車施設課計画係長
	山田 律男	交通局自動車施設課施設係長
	大脇 千鶴	健康福祉局障害企画課主査（福祉都市推進）

◆名古屋市バリアフリー基本構想策定協議会名簿

◎：委員長 ():前任者

区分	氏名	職名
学識経験者	児島美都子	日本福祉大学名誉教授
	◎ 曾田 忠宏	愛知工業大学非常勤講師
	磯部 友彦	中部大学教授
福祉関係者	太田 豊治	名古屋市老人クラブ連合会会長
	相野田克司	名古屋市身体障害者福祉連合会会長
	坂本 隆司	名古屋市総合リハビリテーション事業団指導員
	笹川 純子	名身連聴覚言語障害者情報文化センター所長
	山田 昭義	Λ J U 自立の家専務理事
	仁木 雅子	名古屋手をつなぐ育成会理事長
	岡田 ひろみ	愛知県自閉症協会副会長
	武馬 武雄	名古屋市精神障害者家族会連合会副会長
民間事業者	山田 章博	東海旅客鉄道(株) 管理部課長
	(関戸 淳二)	
	安達 宗徳	名古屋鉄道(株) 建設部課長
	青木 喜臣	名古屋ガイドウェイバス(株) 総務課長
行政関係者	高橋 敏彦	国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所長
	遠藤 健二	愛知県警察本部交通部交通規制課長
	高木 均	愛知県警察本部交通部交通管制課長
	梅村 昭夫	愛知県警察本部交通部駐車対策課長
	(花木 健)	
	古川 治義	東警察署長
	榮野 美登	北警察署長
	伊藤 容子	総務局総合調整部企画調整室長
	吉田 敏和	総務局総合調整部交通政策室長
	水野 雅幸	住宅都市局都市計画部交通施設計画課長
	上垣 孝三	住宅都市局都市計画部特定交通経営管理室長
	田中 勝郎	住宅都市局市街地整備部大曽根北都市整備事務所主幹
	細萱 健一	緑政土木局道路部道路管理課長
	早川 高明	緑政土木局道路部道路維持課長
	加納 弘樹	緑政土木局道路部自転車駐車対策室長
	岩瀬 伸夫	緑政土木局緑地部緑地施設課長
	中野 雅通	東土木事務所長
	佐藤 正	北土木事務所長
	村高 正清	東区区民生活部主幹 (安心・安全で快適なまちづくりの企画)
	中島 聡	北区区民生活部主幹 (安心・安全で快適なまちづくりの企画)
	宇佐美 徹	交通局営業本部電車部電車施設課長
	林 章	交通局営業本部自動車部自動車施設課長
	中島 敬二	交通局営業本部施設車両部主幹 (バリアフリー化)
	高橋 和男	健康福祉局高齢福祉部介護指導課長
	秋山 智	健康福祉局障害福祉部障害者支援課長
	熊澤 章	健康福祉局障害福祉部主幹 (精神保健福祉・福祉都市推進)
アドバイザー	富本 茂	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官
	中西 賢也	国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長
	宮崎 哲	国土交通省中部地方整備局道路部交通対策課長
	安面 光敏	愛知県建設部建築指導課課長補佐

◆ 福祉のまちづくり推進委員会名簿

◎委員長		
区分	氏名	職 名
学識経験者	青山 光子	名古屋市立大学名誉教授
	磯部 友彦	中部大学教授
	児島 美都子	日本福祉大学名誉教授
	佐藤 圭二	中部大学教授
	嶋田 喜昭	大同工業大学准教授
	◎曾田 忠宏	愛知工業大学非常勤講師
	高橋 博久	愛知学泉大学客員研究員
福祉関係者	相野田 克司	名古屋市身体障害者福祉連合会会長
	太田 豊治	名古屋市老人クラブ連合会会長
	坂本 隆司	名古屋市総合リハビリテーション事業団指導員
	笹川 純子	名身連聴覚言語障害者情報文化センター所長
	山田 昭義	A J U 自立の家常務理事
	仁木 雅子	名古屋手をつなぐ育成会理事長
	武馬 武雄	名古屋市精神障害者家族会連合会副会長
	岡田 ひろみ	愛知県自閉症協会副会長
行政関係者	後藤 勝彦	総務局企画部長
	横田 啓子	子ども青少年局子ども育成部長
	荒川 政司	住宅都市局建築指導部長
	中神 俊士	住宅都市局営繕部長
	安田 好文	住宅都市局開発調整部長
	山本 秀隆	緑政土木局道路部長
	寺西 健	緑政土木局緑地部長
	横井 政和	教育委員会事務局総務部長
	山内 善一朗	交通局営業本部総合企画部長
	谷口 幸男	健康福祉局高齢福祉部長
	赤井 久夫	健康福祉局障害福祉部長

2. 現地調査の結果

(1) 現地調査の概要

大曽根駅地区バリアフリー基本構想の策定にあたり、基本構想策定調整会議において、重点整備地区内の旅客施設、道路・公園について現地調査を実施しました。

この調査は、各種整備基準に合致しているかどうかという視点だけではなく、利用者が利用しやすいかどうかという視点からも実施したもので、その結果、国の整備基準等に合致しているものについても、幅広く意見・要望が出されました。

実施日	平成 20 年 6 月 16 日(月)	平成 20 年 7 月 10 日 (木)	平成 20 年 8 月 5 日 (火)
調査対象	旅客施設・地下広場	旅客施設・道路	旅客施設・道路・公園
	☐ 地下鉄大曽根駅 ☐ J R 大曽根駅 ☐ 名鉄大曽根駅 ☐ バスターミナル ☐ ガイドウェイバス（ゆとりーとライン）大曽根駅 ☐ オズガーデン(地下広場)	☐ 地下鉄ナゴヤドーム前矢田駅 ☐ ガイドウェイバス（ゆとりーとライン）ナゴヤドーム前矢田駅 ☐ ナゴヤドーム方面（道路、ペDESTRIANデッキ） ☐ オズモール方面（道路） ☐ オゾンアベニュー方面（道路）	☐ 乗継経路 ☐ 周辺道路 ☐ 徳川園方面（道路） ☐ 徳川園（公園）
調査方法	① 参加者を 4 グループに分け、地元市民・高齢者・障害者と行政職員がともに、擬似体験（車いす、アイマスク、耳栓を使用）をしながら調査を行った。 ② 調査終了後、グループごとに 3 つの視点から問題点や課題、評価できる点等について議論を行い、地図に落とし込んでいった。その後、各グループの代表者が発表し、意見の共有化を図った。 (3 つの視点) ◆ 施設・設備の使いやすさ→施設・設備の実用性の視点 ◆ 移動のしやすさ→通行移動の円滑さの視点 ◆ 案内情報のわかりやすさ→移動を支援する情報提供に関する視点		

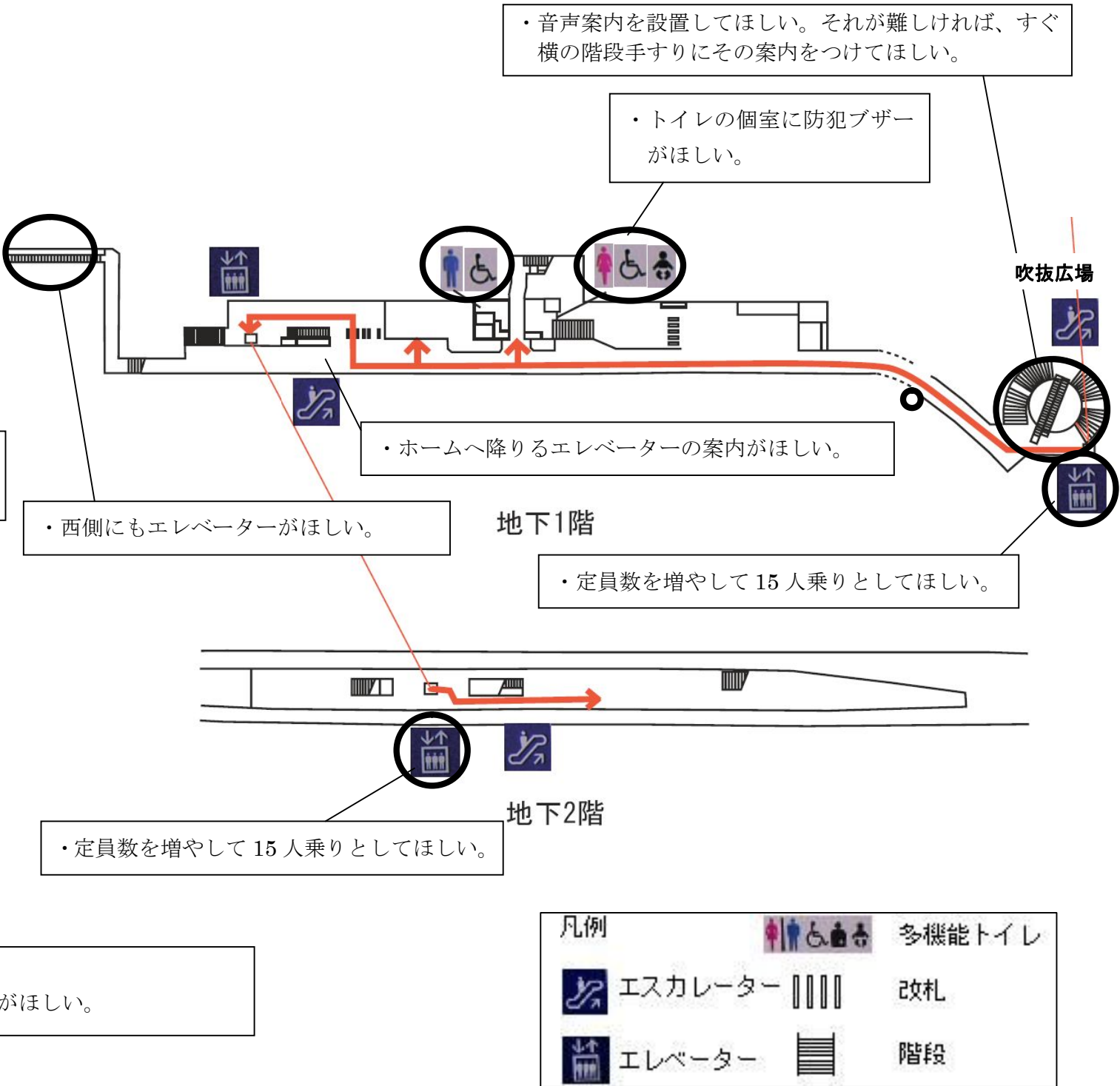
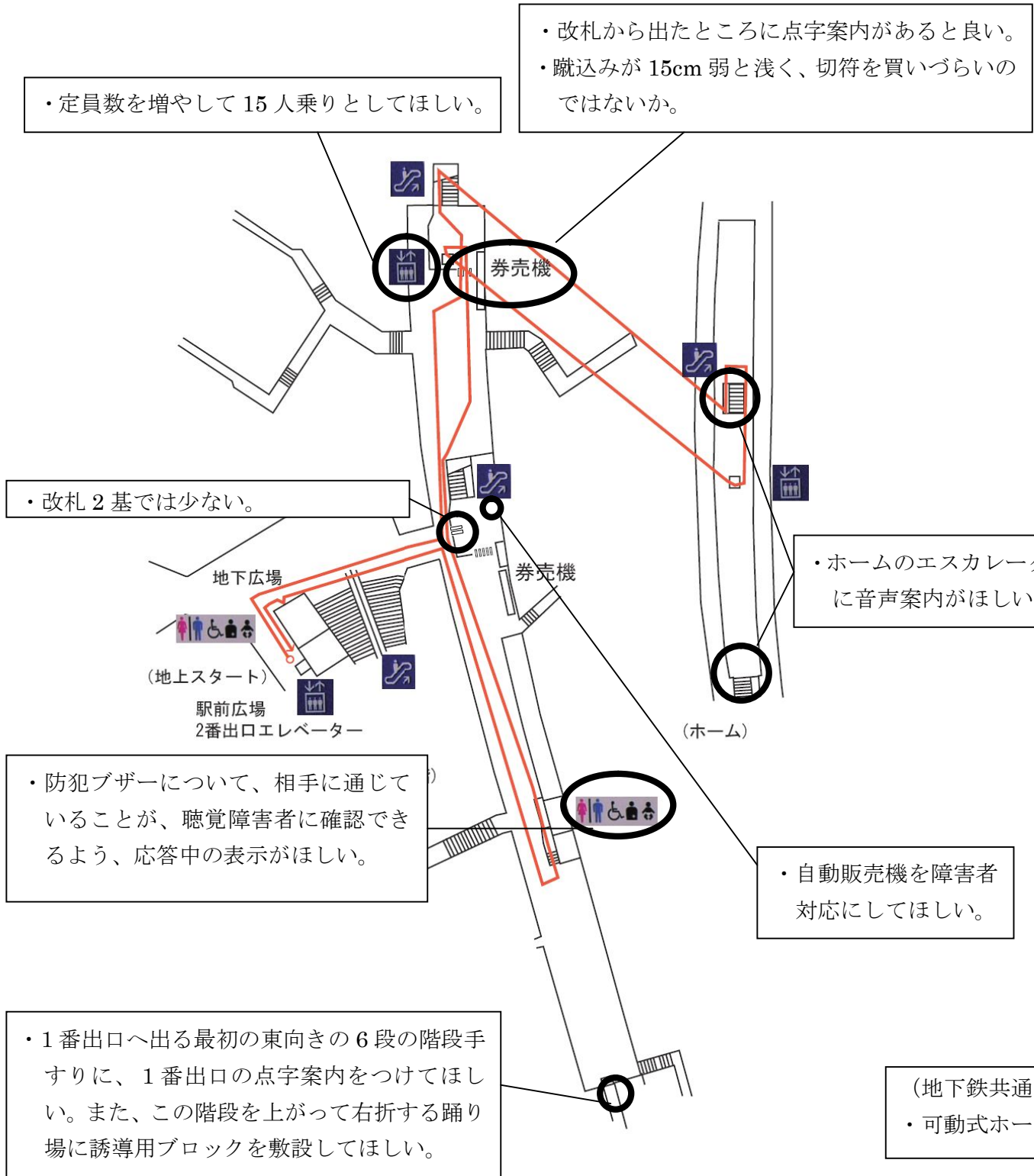
(2) 現地調査の結果

現地調査において、参加者から出された意見の主なものを次のとおりまとめました。なかには、移動等円滑化基準に合致した諸設備についても、当日参加者から機能向上の要望等がありましたが、基準と照らしあわせて、改修の必要がないと判断したものについては、「特定事業計画」に反映していないものも含まれています。

また、調査当時の状況のため、現在においては改善されているものもあります。

大曽根駅

ナゴヤドーム前矢田駅



JR、名鉄、ガイドウェイバス

名鉄 大曽根駅

- ・階段が広いので真中に手すりがほしい。
- ・2段手すりになっていない場所がある。
- ・階段手すりに点字案内がない。
- ・階段の滑り止めが3本連続して設置されているため階段の角がわからない。

- ・エレベーターへの案内がわかりにくい。
- ・エレベーターへの通路では、舗装の色使いと誘導用ブロックが紛らわしい。

- ・インターホンで連絡しないと使えないので不便。

- ・階段の滑り止めが3本連続して設置されているため階段の角がわからない。
- ・踊り場に警告用の誘導用ブロックがない。

- ・入口通路が狭い。
- ・階段に手すりがない。
- ・案内表示が暗くわかりにくい。
- ・スロープ、車いす使用者対応トイレがない。

- ・反対ホームへの誘導用ブロックがない。

- ・窓口まで誘導用ブロックで案内がされているのに、窓口が開かれておらず、機械をお使いくださいと紙面で記載されていた。

凡例		多機能トイレ
		改札
		階段

ガイドウェイバス ナゴヤドーム前矢田駅

- ・階段手すりの点字案内の一部が消えている。

- ・エスカレーターに音声案内を設置してほしい。
- ・2階へ上がる階段左端（エスカレーター横）の点字案内板を、手すりの案内のすぐ上（階段上の案内板のように）に設置してほしい。

- ・視覚障害者用案内表示がない。
- ・音声案内を設置してほしい。

- ・エレベーター内の案内が少ない。

JR 大曽根駅

- ・点字ブロック案内板からトイレまで遠いので、誘導用に手すりを設置してほしい。

- ・券売機の画面を見やすくしてほしい。

- ・定員数を増やして15人乗りしてほしい。
- ・ホームへの案内表示があるとよい。

- ・最後のスロープを緩やかにしてほしい。

- ・ホームでの案内表示を増やしてほしい。
- ・建物の両側に柱があり、車いすの通行には狭い。

駅前広場及び駅全体

- (地下広場)
- 地下から地上への階段の手すりの点字案内について、単に「地上へ」ではなく、「JR、名鉄、ゆとりーと方面へ」等もう少し詳しく書いてほしい。
 - 地下鉄大曽根駅改札からエレベーターのない駅前広場 3 番・4 番・5 番出口の階段への誘導用ブロックを敷設してほしい。

- (地上広場)・上屋が狭い。
- 非常ボタンはしっかり対応されているのかわかりにくい。
 - 案内表示が、ついたてのせいで車いすからでは見えない。
 - 駐輪場への扉を軽くしてほしい。

- 地下広場トイレの視覚障害者のための案内板について、女子トイレ入口の右側の壁につけてほしい。内容としては、現在地下鉄駅構内のトイレに設置されているものがよい。
- エレベーターで地下に降りたところに、商店街方面、地下鉄方面などの案内があるとよい。
- 駅前広場 2 番出入口を出た近くに音声触知図案内板がほしい。(地上)
- 降車場に点字の概略的なバス案内図(地図と系統案内)がほしい。

- バスターミナルを周回する誘導用ブロックを駅前広場 1 番から 6 番までの階段出入口へ接続してほしい。

- (駅全体)
- 改札前に災害情報があるとよい。
 - ホーム以外に電光掲示板がない。
 - 避難誘導がわからない。

- (案内)
- 案内表示が小さくて見にくい。
 - 案内表示の明度差がはっきりしない。
 - 案内表示が高い。柱に隠れて見にくい。
 - 案内表示に照明が反射して見にくい。
 - 出口の先になにがあるのか、案内表示がほしい。

- バスの案内が地下通路の左右に分かれている。
- 地下広場の防火シャッターのくぐり戸に「非常口」と表示するのが望ましい。
- 音声案内がない。
- 昇り旗等による消火器、屋内消火栓、誘導灯に対する視認障害。
- 商品、看板等が通路上に置かれている。(地下通路) 避難時の障害となる。
- 敷地所有者ごとに段差や、誘導用ブロックが途切れている箇所がある。
- ゆとりーと前(地下鉄 2 番出口付近)、放置自転車で誘導ブロック、案内板がわかりにくい。
- 看板等が誘導用ブロックぎりぎりに出ていた。
- 地下鉄 2 番出口から出て、名鉄方面へ向かう敷地境界の誘導用ブロックの屈折を直線に改良してほしい。

- バスターミナル触知図案内板をあと 20cm 上げてほしい。
- 点字位置が低い。ビス止めが現在地表示と紛らわしい。
- 音声案内触知図案内板に改良してほしい。

凡例

 エスカレーター

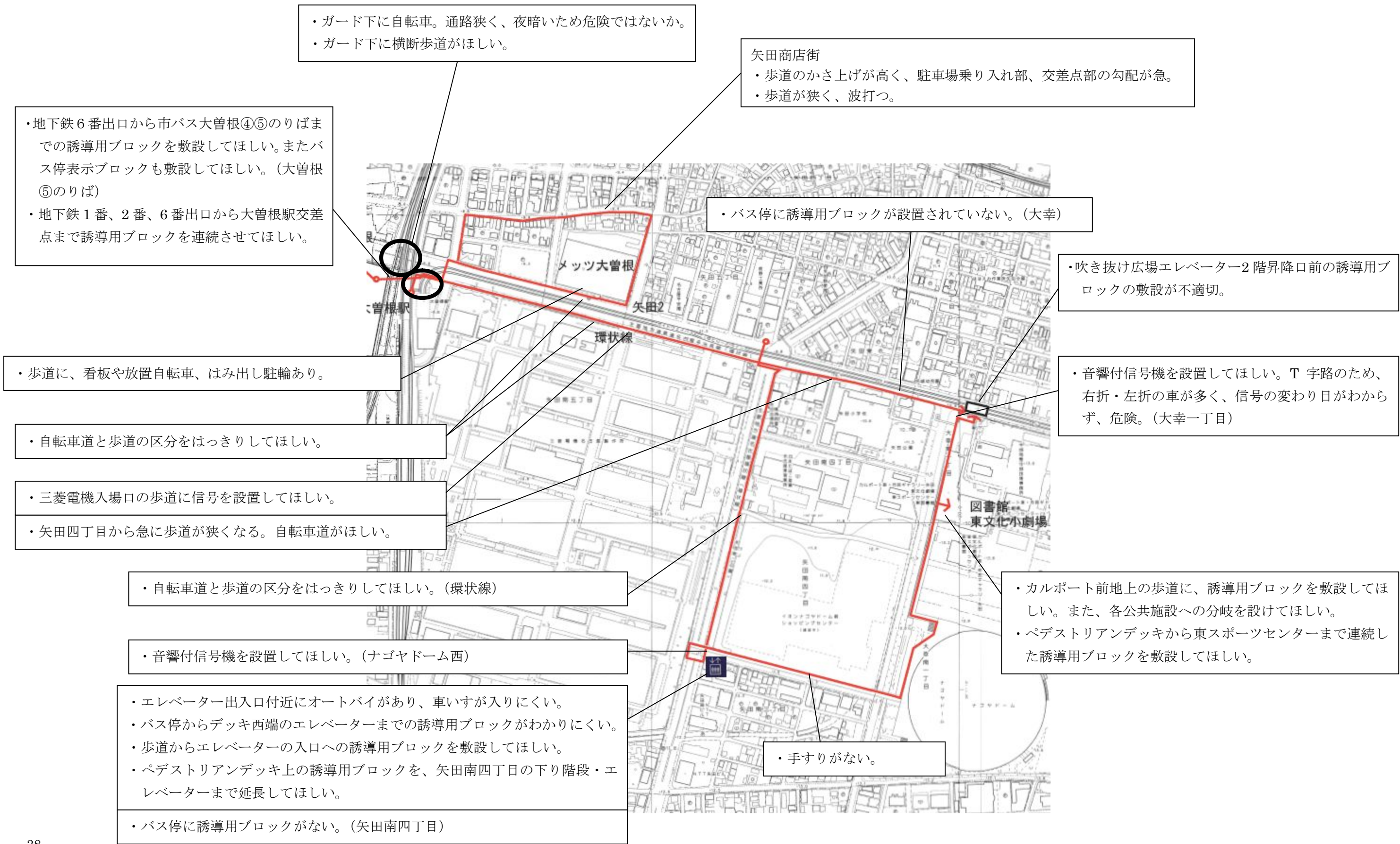
 エレベーター

 多機能トイレ

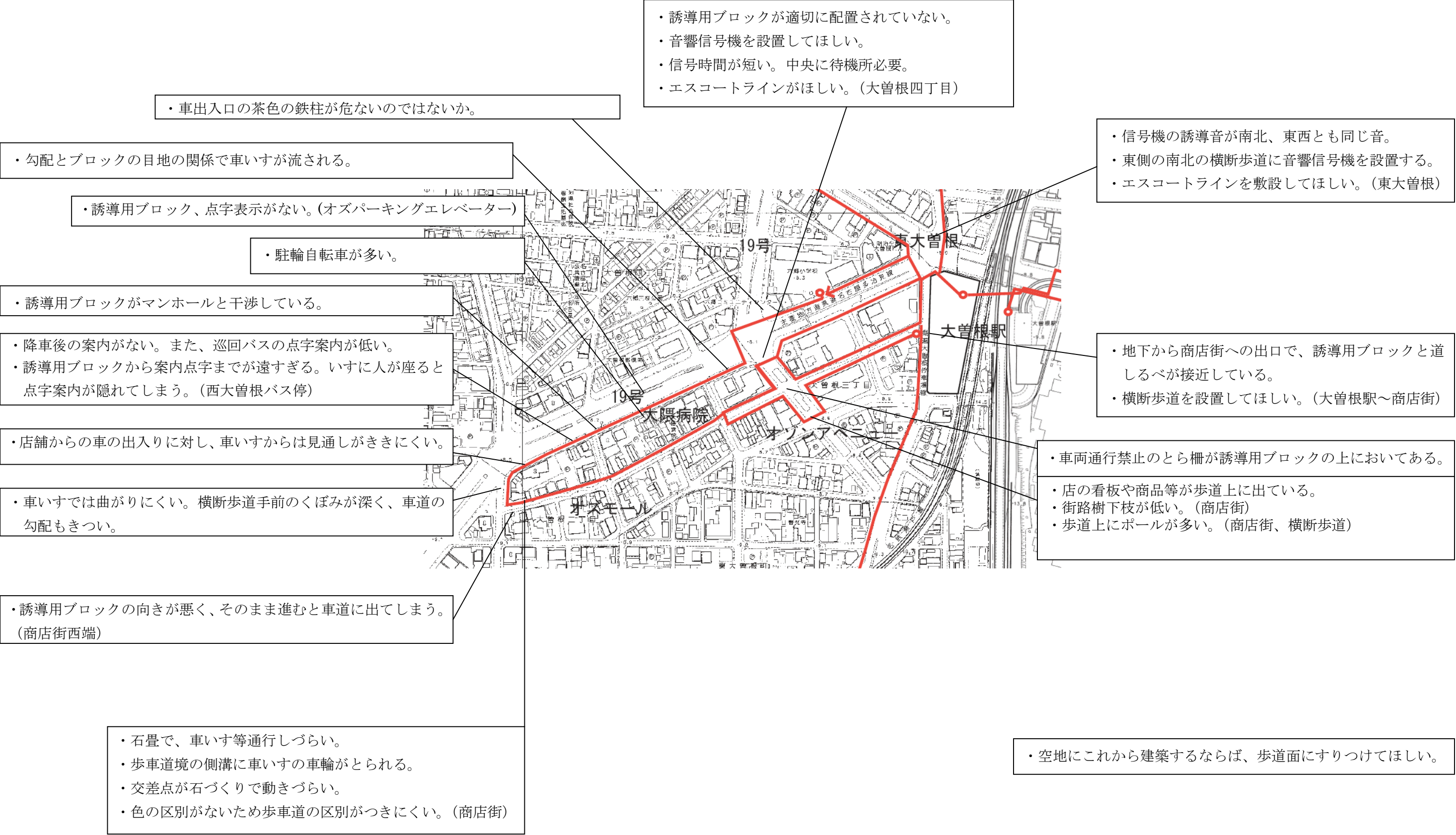
 改札

 階段

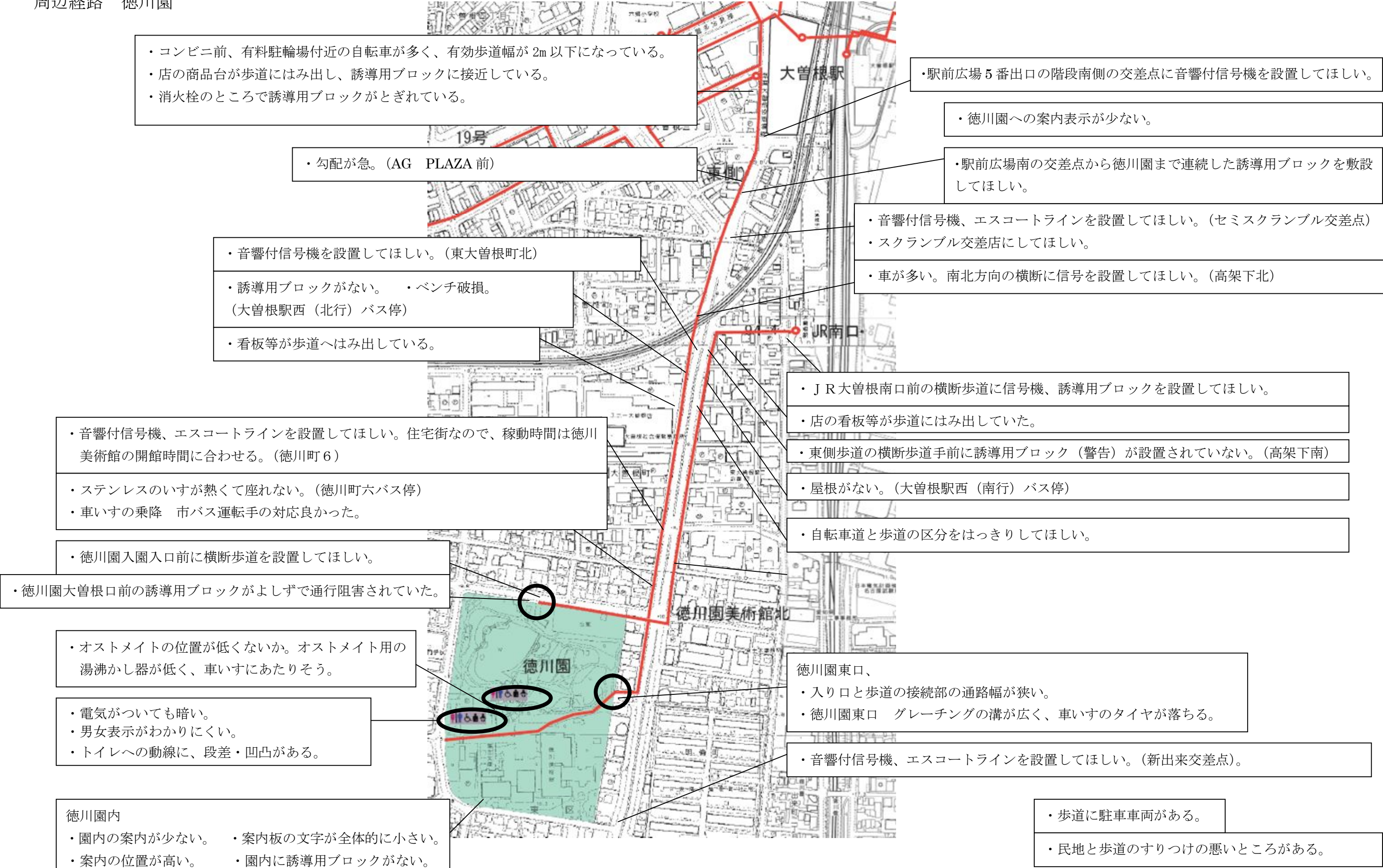
周辺経路 ナゴヤドーム・メッツ大曽根



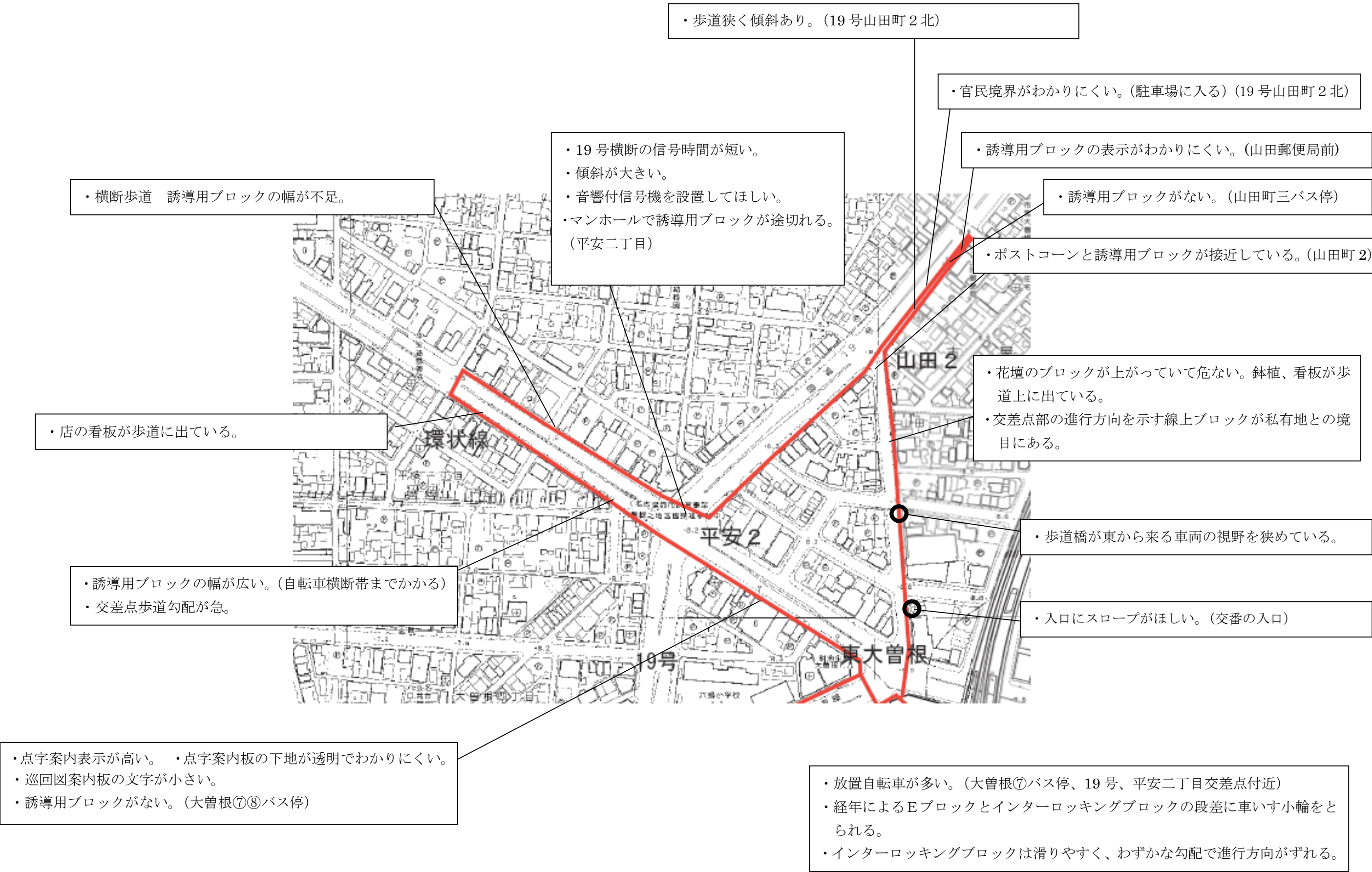
周辺経路 商店街方面



周辺経路 徳川園



周辺経路 大曽根駅北側



◇現地調査（フィールドワーク）の様子

●駅前広場、乗り換え経路踏査の様子



①地下から駅前広場へ



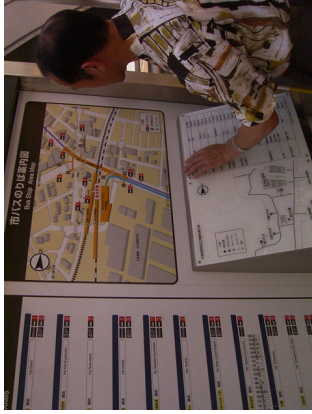
②エレベーターからの案内を検証



③バスターミナルを検証



④バス案内を検証



⑤バス案内（点字等）を検証



⑥バス停を検証



⑦バスターミナルから名鉄へ



⑧大曽根駅前の路上駐輪

●交通施設踏査の様子（名鉄）



①階段を検証



②エレベーターを検証



③券売機を検証

●交通施設踏査の様子（地下鉄）



①トイレ前のスロープを検証



②トイレ内を検証



③案内板を検証



④地下鉄改札までの動線を検証



⑤ホームを検証



⑥地下鉄に乗りし検証

●交通施設踏査の様子（ゆとりーと）



①エレベーターを検証



②点字案内を検証



③点字案内を検証

●交通施設踏査の様子（JR）



①券売機を検証



②トイレを検証



③多目的トイレ内を検証



④多目的トイレ内を検証・体験



⑤エレベーターを検証



⑥ホームを検証



⑦点字案内を検証

●周辺経路踏査の様子



①大曽根駅周辺



②ナゴヤドーム付近



③カルポート東前付近

●周辺経路踏査の様子



④車いすの疑似体験



⑤バス停を検証



⑥セミスクランブル交差点を検証



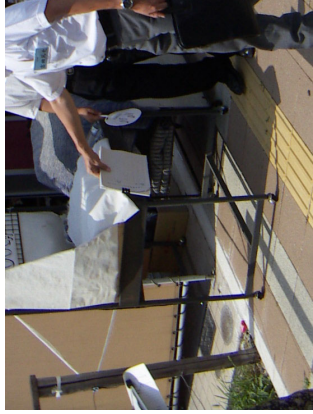
⑧駅前の路上駐輪



⑨生活関連施設周辺を検証



⑩生活関連施設周辺の路上駐輪



⑪歩道に張り出す店舗の商品台



⑫市バスを検証



⑬徳川園を検証



⑭意見交換会の様子



⑮意見交換会の様子